

専門分野			
日韓対照言語研究、韓国語教育、社会言語学			
研究課題			
日本における韓国語教育、非言語コミュニケーション、日韓の言語ストラテジー			
教育活動			
担当授業科目(学部)			
韓国語Ⅰ、インテンシブ韓国語Ⅰ、韓国語コミュニケーションⅡ、リベラルアーツ入門Ⅰ、専門基礎演習Ⅰ、専門応用演習Ⅰ 飛び級特別クラス（勉強会）			
担当授業科目(大学院)			
事項	年月	対象者	概要
教育方法の実践例			
留学生との合同発表及び個人発表	平成 24年4月から	2 回生ゼミ	日韓の言語・非言語行動について文献を読み、要約と感想を寄せ発表してもらう。人との関わりを大事にし、必ず高麗大学校から本学に交換留学に来ている学生たちを各グループにそれぞれ所属させる。自然に異文化コミュニケーションに触れることもでき、個人発表に入る前のトレーニングとして教育効果が見られた。
韓国の物語暗唱発表	平成 27 年7月から	3 回生ゼミ	韓国の昔話を自分流に変えて暗唱し、発表してもらった。このやり方は、語学勉強における理解・暗記の大事さ及び人の前で発表する力とスキルを学ぶことができる。
卒業論文発表	平成 29 年 2 月	4 回生ゼミ	自分が書いた論文について中間発表及び期末発表を行った。
作成した教材・資料集			
その他教育活動上特記すべき事項			
帝塚山学院大学付属高等学校住吉校 創研講座1年間担当	平成25年4月～平成26年3月	高校2年生	ホームステイ先【ソウル】で使える韓国語の基礎語彙、文字、あいさつ語について学習
帝塚山学院大学付属高等学校住吉校 桃谷キムチ作り引率及びレクチャー	平成 26 年 6 月	高校 2 年	桃谷のコリアンタウンに出かけてキムチ漬けの体験の時に、講義及び引率を行った。
帝塚山学院大学国際理解研究所サロン発表	平成 24 年 6 月	教職員、在学生、留学生	日韓の若者文化、大学のキャンパス文化の相違について発表
大阪狭山市市民講座	平成 25 年 10 月	近隣住民	ハングル文字、挨拶表現、韓国料理についてレクチャー
PL 学園高校	平成 25 年 10 月	高校 2 年生	韓国の教育、食べ物、伝統衣装などについてレクチャー
ハングル能力検定試験対策講座	平成 25 年から平成 28 年	在学生	ここ 3 年間ハングル能力検定試験対策講座(2 級～5 級)を行い、延べ(約)137名の合格者を出すことに些細な力でありながら一助できた。
大阪韓国文化院主催韓国語スピーチ大会指導	平成25年から平成 29 年 2 月	在学生	年 1 回開催される本大会に参加希望者を対象に綿密な指導を行い、4年目参加で3年連続に、最優秀賞、優秀賞、奨励賞など総14名の受賞者、及び本戦進出者9名を輩出できた。
帝塚山学院大学リベラルアーツ学部主催高校生 K-POP 暗唱会	平成 27 年 10 月 平成 28 年 6 月	高校生	K-POP 暗唱会時に審査委員を務めた。

帝塚山学院大学付属高等学校泉ヶ丘校	平成 28 年 2 月	高校 2 年生	修学旅行を控えた学生を対象に韓国の文化について講義を行った。	
帝塚山学院大学リベラルアーツ学部 住吉校体験授業	平成 27 年 11 月 平成 28 年 6 月	住吉校 2 年生	「日本・中国・韓国 一似ているけど、やっぱり違う!」というテーマをもとに杉本教授と体験授業を行った。	
OC における体験授業	平成 24 年～平成 27 年	高校生	着任してから年 1 回は OC にて体験授業を行った。(コラボ授業あり)	
帝塚山学院大学生涯学習センター	平成 28 年 11 月	近隣住民	日韓の異文化コミュニケーション及び文化について語った。	
帝塚山学院大学付属高等学校泉ヶ丘校	平成 29 年 1 月	高校 1 年生	修学旅行を目前にしている高校 1 年生を対象に韓国文化について語った。	
研究活動				
著書・CD・論文・学会発表 ・演奏会等の名称	単共 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等又は 発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名 前、曲名、担当頁、概要など
著書・訳書・CD 等				
学術論文				
日韓断り談話における不可表現マーカー ー対人関係調節の観点からー	単	平成 24 年 12 月	帝塚山学院大学リベラルアーツ 学部『帝塚山学院大学研究論 集』47 集	ロールプレイ方式で収集した日韓断り談話データを分析。不可を表明する発話を中心に考察し、日韓のウチ・ソト・ヨソ意識と言語戦略の相違について明らかにした。
日韓の若者文化(講演録)	単	平成 26 年 3 月	帝塚山学院大学国際理解研究 所『国際理解』40 号	「相手と距離を置く配慮文化」日本と「相手との距離を縮めようとする親愛の文化」韓国との比較を試みた。両文化の若者のキャンパスライフについても述べた。
日韓依頼行動における言語ストラテジー ードラマ『イケメンですね』(日韓版)の資料からー	単	平成 26 年 12 月	韓国日本語学会(国際学術学 会)『日本語学研究』42 集【査 読有】	日韓テレビドラマ(リメイク版)を用いて依頼談話を分析。同場面に見られる両言語の文法及び言語ストラテジーの相違について考察した。
韓国語学習者に見る依頼表現の学習プロセス及 びその特徴 ー日韓発行の中級韓国語教材を中心にー	単	平成 26 年 12 月	帝塚山学院大学研究論集 リベラルアーツ学部 『帝塚山学院大学研究論集』 49 集	日本と韓国で出版されている中級韓国語テキストの依頼表現を分析。日本発行教材と韓国発行教材における依頼表現の示し方の異同について考察した。
韓日リメイクドラマの会話文に見られるジェンダー ー『미남이시네요』の同場面を中心にー	単	平成 27 年 9 月	韓国日本語学会(国際学術学 会)『日本語学研究』45 集【査 読有】	韓日リメイクドラマを取り上げ、原作の韓国版が日本リメイク版にどのように変容・解釈されているかについて、特にジェンダーに焦点を当てて比較分析を試みた。その結果、両言語の間には男女差を表す方式に隔たりが存在していることが分かった。
韓国語の「勧誘」文型に関する一考察 ー日韓で発行された韓国語教材の比較を中心にー	単	平成 27 年 12 月	帝塚山学院大学研究論集 リベラルアーツ学部 『帝塚山学院大学研究論集』 50 集	韓国語勧誘表現を中心に日本発行韓国語中級教材と韓国発行それとを比較分析した結果、1) 多用される勧誘表現の文型とそれが導入される学習レベル(級)が日本発行と韓国発行との間で異なる。2) 韓国で発行された教材の場合は、ほとんどが「우리/같이(私達/一緒に)」という語と勧誘表現とが共起している。3) 日本発行教材には否定形の勧誘表現がやや多く含まれている。以上のことが分かった。
映像資料を用いた異文化理解(韓国)のための授業実践報告	単	平成 28 年 12 月	帝塚山学院大学研究論集 リベラルアーツ学部 『帝塚山学院大学研究論集』 51 集	本稿では、異文化授業において動画を用いた場合とそうではない場合とを受講生の理解度に焦点をあて、比較を試みた。その結果、1) 文字と写真、イラスト資料に比べて動画のほうが、動画であっても効果音と映像だけではなく、出演者が直接、聞き手に語り掛けてくるような種類のほうがアピール度の度合いが高い。2) 特定のテ

				ーマを扱う異文化理解のための授業においては異文化同士の類似点及び相違点が一目で比較できるような資料の選定が大事である。以上のことが分かった。
学会発表				
日韓リメイクドラマに見られる言語と文化	単独	平成 27 年 5 月 16 日	第 10 回韓国語研究会近畿大学東大阪キャンパス 11 学舎	リメイク版ドラマを用いた効率のいい教育方法について述べた。
日韓 CM の売りのストラテジー	単独	平成 28 年 5 月 14 日	第 12 回韓国語研究会京都キャンパスプラザ	日韓 CM の売りのストラテジーの共通点及び相違点について述べた。
受講者の興味を引き付けるには？	単独	平成 28 年 9 月 17 日	第13回韓国語研究会京都キャンパスプラザ	授業における受講者の関心を引き付ける方法について述べた。
演奏会・発表会				
帝塚山学院大学と高大連携イベント	単	平成25年2月	桃谷高校、高等学校韓国朝鮮語教育ネットワーク	平成24年度の韓国イベントについての報告及び平成25年度のイベント計画についての呼びかけをした。
ドラマ『イケメンですね』に見られる日韓文化	単	平成 26 年 8 月	帝塚山学院大学	日韓文化交流基金主催で来日した韓国大学生 35 名と在学生 34 名を対象にドラマに見られる日韓文化について語った。
日韓リメイクドラマから考える言語・非言語そして文化	単	平成 27 年 7 月	帝塚山学院大学	日韓文化交流基金韓国青年団訪日プログラムにてドラマに見られる日韓言語・非言語・文化についてレクチャーし、最後は受講者(韓国大学生 33 名、在学生 42 名)と相互に意見を交換した。
その他の研究発表、演奏				
帝塚山学院大学国際理解研究所サロン発表	単	平成 24 年 6 月	帝塚山学院大学	教職員、在学生、留学生を対象に日韓の若者文化、大学のキャンパス文化の相違について発表
国際理解研究所発表	単	平成 27 年 5 月	帝塚山学院大学	国政理解研究所で開かれるサロンにて日韓の大学生の言語行動の特徴・相違について語った。
その他の著書、訳書等(雑誌原稿等を含む)				
フィールドスタディーズ(韓国)の得難い体験	共	平成25年3月	帝塚山学院大学『こだはら』36号	夏の語学研修を通して得られる貴重な体験について述べた・
フィールドスタディーズを通して韓国語・韓国文化と出会おう！	共	平成 26 年 3 月	帝塚山学院大学『こだはら』37号	高麗大学の語学センターで集中して語学勉強をすることにより、「話し、聞き、書き、読み」の能力にさらなる進歩を遂げる貴重な体験になることについて述べた。在学生2名の文章も一緒に載せている
研究助成金の受給状況				
科研費の採択				
研究タイトル	助成金タイトル、支給元		研究代表者・分担者の区別	
	支給額		支給年度	
その他の外部資金による活動				
研究タイトル	助成金タイトル、支給元		研究代表者・分担者の区別	
	支給額		支給年度	
その他研究活動上特記すべき事項	年月		概要	

学内委員等				
就任期間		機関名・委員名・役職名		
平成 24 年 4 月～平成 28 年 3 月		教務委員会		
平成 25 年 4 月～平成 26 年 3 月		AO,OC 委員会		
平成 24 年 4 月～平成 25 年 3 月		図書館委員会		
平成 25 年 4 月～平成 29 年 4 月現在		国際交流センター員		
社会活動				
学会役員				
就任期間		学会役員名		
公開講座				
講座名、講演タイトル	単共 の別	年月	場所	概要
学外機関委員等				
就任期間		機関名・委員名・役職名		
その他、学会や学術的団体での活動、社会活動上特記すべき事項				
日本ロータリー学友会				
海外での活動				
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること				
期間	国名	概要		